

キムンモラップ山(478m)

平成 31 年 4 月 13 日(土) 快晴 ほぼ無風 気温は春到来の 10 度越え予報

参加者 CL 相馬 A 班 L 藤木(晴) 山岸 藤木(た) 近藤 門馬 及川 B 班 L 長沼 渡邊 津川 八重樫 増川 笹山

6:45 岡志別運動公園出発 最近、計画書より集合時間が早まる傾向あり。早起きが常態化かな？

8:40 旧モーラップスキー場 P 場着 すでに苦小牧組も着。こちらも早起き常態化かな？まだ若いのに。キムンモラップ山はモラップ山とツインのように支笏湖畔に並ぶ三角の山です。支笏洞爺国立公園内にあり支笏湖野鳥の森、自然観察歩道が整備され、観察できる野鳥の看板やあずま屋も設置してあります。支笏湖に切れ落ちる様に聳えているので、湖に真っ逆さま気分も味わう事が出来ます。

9:05 に登山開始、ゆっくりと野鳥の囀りに耳を傾け、木の芽の膨らみを確認し、フキノトウ、行者ニンニクなど山菜を見つけては喜び、思いのほかの急登に少し苦勞し、10:05 には頂上へ。目の前に広がる景色は、鏡のような湖面に映し出された樽前山、風不死岳、雪を冠した山々の連続、まさに絶景の極み。地元出身のリーダー曰く「こんなにきれいな景色はめったに見られるものじゃないよ!!」って。

10:50 P 場着 2 時間ほどのゆったりと春を迎えに行く山旅でした。



P 場からキムンモラップ山を望む



遊歩道ルートマップ看板



頂上には絵馬のような小さな看板



コンパスの勉強もしました



休暇村公園暖かな陽ざしの下での食事



開花を待つナニワズ

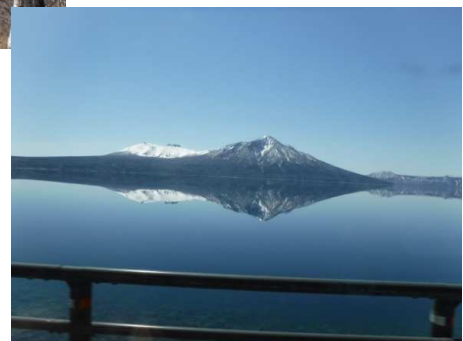


陽だまりに一輪イチゲ

春の息吹を所々に感じながら絶景を堪能した一日でした。

湖畔道路には見事な景色を捉えようとカメラ片手に観光客がずらり。北海道の美しさを自慢したくなる一日でもありました。

リーダー、皆様ありがとうございました。



湖畔道路から望む樽前山 風不死岳

(写真相馬氏門馬氏提供、記録笹山)